

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 課題社会 | 子ども・若者の未来を生き抜く意欲や能力が、生まれ育った環境によって左右されてしまうこと | | |
| 理念 | “生き抜く力”を、子ども・若者へ | | |
| 課重点 | カタリ場事業 | 東北復興事業(コラボ・スクール事業) | |
| | カタリ場を、地域・学校の教育課題解決へ - ナナメの関係による対話の場を全国へ届ける - | 震災の経験を、“悲しみ”から“強さ”へ - 心のケア・学びのセーフティネット確保と、復興を担うリーダーの輩出 - | |
| 戦略 | 教室に社会を届ける | 周辺環境と連携する | 新たなコミュニティを創り出す |
| | <ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者の意欲や創造性をナナメの関係によって引き出す。 目標に向かい、安心して努力しつづけられるため、仲間や機会との出会いを仕掛ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者の日常を支える、学校・保護者・地域と連携する。 行政と連携し、子ども・若者を応援するための政策立案に貢献する。 | <ul style="list-style-type: none"> “ナナメの関係”で子ども若者に関わる大人や若者自身の成長にもつながる。 当事者意識が引き出された子ども・若者・大人が、それぞれ自らの周辺環境を変えていく。 |
| コア競争力 | “ナナメの関係”による場創り -カタリバー- | 先生でも親(タテ)でもない、友達(ヨコ)でもない、一步先をゆく“先輩”との出会いが、子ども・若者を動機づけます。カタリバは、多様な大人・若者に“教育の担い手”として参加してもらうことで、この“ナナメの関係”を活用した場を、創り続けてきました。 | |

“生き抜く力”とは… 自律・共生・イノベーション

1. **自律** :どんな環境にいても、「未来は自分自身で創り出せる」という期待感を持ち続けられる。自ら目標を定めて目の前の「やるべきこと」から、逃げずに向き合う。このように主体的にチャレンジしていく子ども・若者を、カタリバは育てます。
2. **共生** :周りを思いやり、「地域」や「社会」などコミュニティのため共に助け合う。他者による環境の改善を期待するのではなく、当事者として参加する。このように、「共助」のスタンスと「当事者意識」をもった子ども・若者を、カタリバは育てます。
3. **イノベーション** :時代がどのように変化しても、自ら考え、課題を設定する。その解決に向けて、リーダーシップをとりながら変革を進めていく。このように、自らの「持ち場」で、新しい価値を産み出していける子ども・若者を、カタリバは育てます。